

第21回「山形県家計消費動向調査」結果 (平成23年9月調査)

【調査の要旨】

- **消費指数**は、▲108.2 となり 9.8 ポイントの改善となった。内訳としての景気判断指数が▲52.5(前期比 8.4 ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲55.7(前期比 1.4 ポイント上昇)といずれも前期を上回っている。震災から 6 ヶ月が経過し、消費マインドにわずかな改善の兆しが見られた。
- **今後の見通し**として、消費指数▲106.7(前期比 1.5 ポイント上昇)、内訳としての景気判断指数▲49.0(前期比 3.5 ポイント上昇)、暮らし向き判断指数▲57.7(前期比 2.0 ポイント下落)と、いずれもほぼ横ばいとなっている。
- 一方、**大きな買い物**(自動車、住宅など)への支出意向は、総じて震災前の水準に戻っている。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得(収入の手取り額)が 498 千円と前年同期比で 45 千円増加となった。臨時給与を含んだ世帯主と世帯員の収入が 50 千円増加したのが主たる要因である。一方、支出面では 433 千円と前年同期比で 31 千円増加となった。その結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は 87.1%となり、23 年 2 月調査(98.2%)、23 年 5 月調査(99.9%)に比べ大幅に低下し、22 年 11 月調査(89.2%)の水準に戻った。

平成23年11月

株式会社フィデア総合研究所

目次

I. 消費指数(総括)	2
II. 消費指数(内訳)	4
1. 景気判断.....	4
(1) 景気判断の概況.....	4
(2) 景気判断の推移.....	5
2. 暮らし向き判断	6
(1) 暮らし向き判断の概況.....	6
(2) 暮らし向き判断の推移.....	7
III. 支出意向.....	8
(1) 支出意向の推移.....	8
(2) 支出意向(大きな買い物)の推移.....	9
IV. 家計簿調査.....	10
V. 調査の概要.....	12

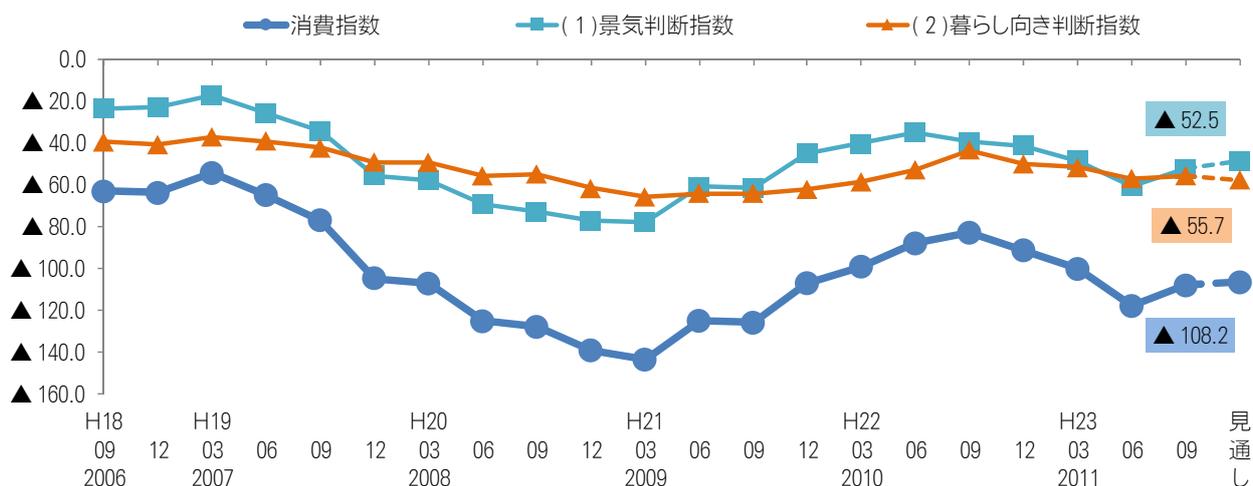
1. 消費指数(総括)

～震災から6ヵ月が経過、消費マインドにわずかな改善の兆し～

消費指数は▲108.2となり9.8ポイントの改善となった。内訳としての景気判断指数が▲52.5(前期比8.4ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲55.7(前期比1.4ポイント上昇)といずれも前期を上回っている。震災から6ヵ月が経過し、消費マインドにわずかな改善の兆しが見られた。

なお、今後の見通しについては、消費指数▲106.7(前期比1.5ポイント上昇)、内訳としての景気判断指数▲49.0(前期比3.5ポイント上昇)、暮らし向き判断指数▲57.7(前期比2.0ポイント下落)と、いずれもほぼ横ばいとなっている。

図表1 消費指数の推移



【指数の見方】

消費指数は(1)景気判断指数(景気・雇用環境・物価の3項目で構成)と(2)暮らし向き指数(世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成)の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

図表2 消費指数(内訳)の推移

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
18年	9月	▲63.3	▲23.7	▲6.1	▲3.6	▲14.0	▲39.6	▲8.0	▲9.7	▲8.6	▲13.3
	12月	▲64.0	▲23.1	▲7.6	▲5.0	▲10.5	▲40.9	▲8.0	▲10.1	▲9.4	▲13.4
19年	3月	▲54.5	▲17.3	▲4.7	▲4.0	▲8.6	▲37.2	▲6.8	▲9.0	▲8.5	▲12.9
	6月	▲65.0	▲25.9	▲5.6	▲3.9	▲16.4	▲39.1	▲6.8	▲9.9	▲9.6	▲12.8
	9月	▲77.0	▲34.5	▲8.8	▲9.1	▲16.6	▲42.5	▲8.7	▲9.3	▲10.6	▲13.9
	12月	▲104.7	▲55.5	▲15.2	▲12.1	▲28.2	▲49.2	▲10.3	▲11.4	▲11.7	▲15.8
20年	3月	▲107.3	▲57.9	▲16.2	▲13.3	▲28.4	▲49.4	▲9.9	▲11.3	▲12.3	▲15.9
	6月	▲125.3	▲69.5	▲20.8	▲16.7	▲32.0	▲55.8	▲10.6	▲13.3	▲13.7	▲18.2
	9月	▲128.0	▲73.1	▲22.1	▲19.4	▲31.6	▲54.9	▲10.1	▲13.2	▲14.1	▲17.5
	12月	▲139.2	▲77.3	▲26.0	▲27.1	▲24.2	▲61.9	▲11.9	▲15.4	▲15.9	▲18.7
21年	3月	▲143.6	▲77.7	▲28.4	▲30.9	▲18.4	▲65.9	▲14.4	▲16.3	▲16.1	▲19.1
	6月	▲125.1	▲61.0	▲24.1	▲27.8	▲9.1	▲64.1	▲14.2	▲16.5	▲15.0	▲18.4
	9月	▲126.0	▲61.9	▲23.4	▲26.9	▲11.6	▲64.1	▲14.0	▲15.6	▲15.6	▲18.9
	12月	▲107.1	▲44.8	▲21.7	▲25.6	2.5	▲62.3	▲13.5	▲15.7	▲14.4	▲18.7
22年	3月	▲99.2	▲40.5	▲16.7	▲21.7	▲2.1	▲58.7	▲12.4	▲14.6	▲14.4	▲17.3
	6月	▲88.1	▲35.2	▲13.2	▲18.5	▲3.5	▲52.9	▲12.8	▲14.4	▲10.4	▲15.3
	9月	▲83.0	▲39.6	▲15.0	▲19.5	▲5.1	▲43.4	▲6.3	▲11.9	▲10.0	▲15.2
	12月	▲91.4	▲41.3	▲14.9	▲20.0	▲6.4	▲50.1	▲12.3	▲12.8	▲9.8	▲15.2
23年	3月	▲100.3	▲48.4	▲15.6	▲17.8	▲15.0	▲51.9	▲12.0	▲14.2	▲10.7	▲15.0
	6月	▲118.0	▲60.9	▲19.6	▲22.9	▲18.4	▲57.1	▲14.1	▲15.0	▲11.6	▲16.4
	9月	▲108.2	▲52.5	▲18.0	▲20.7	▲13.8	▲55.7	▲13.4	▲15.0	▲11.3	▲16.0
	見通し	▲106.7	▲49.0	▲15.7	▲18.1	▲15.2	▲57.7	▲14.1	▲14.8	▲13.3	▲15.5

(前期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
18年	12月	▲0.7	0.6	▲1.5	▲1.4	3.5	▲1.3	0.0	▲0.4	▲0.8	▲0.1
19年	3月	9.5	5.7	2.9	1.0	1.9	3.6	1.2	1.1	0.9	0.5
	6月	▲10.5	▲8.6	▲0.9	0.1	▲7.8	▲1.9	0.0	▲0.9	▲1.1	0.1
	9月	▲12.0	▲8.6	▲3.2	▲5.2	▲0.2	▲3.4	▲1.9	0.6	▲1.0	▲1.1
	12月	▲27.7	▲21.0	▲6.4	▲3.0	▲11.6	▲6.7	▲1.6	▲2.1	▲1.1	▲1.9
20年	3月	▲2.6	▲2.4	▲1.0	▲1.2	▲0.2	▲0.2	0.4	0.1	▲0.6	▲0.1
	6月	▲18.0	▲11.6	▲4.6	▲3.4	▲3.6	▲6.4	▲0.7	▲2.0	▲1.4	▲2.3
	9月	▲2.7	▲3.6	▲1.3	▲2.7	0.4	0.9	0.5	0.1	▲0.4	0.7
	12月	▲11.2	▲4.2	▲3.9	▲7.7	7.4	▲7.0	▲1.8	▲2.2	▲1.8	▲1.2
21年	3月	▲4.4	▲0.4	▲2.4	▲3.8	5.8	▲4.0	▲2.5	▲0.9	▲0.2	▲0.4
	6月	18.5	16.7	4.3	3.1	9.3	1.8	0.2	▲0.2	1.1	0.7
	9月	▲0.9	▲0.9	0.7	0.9	▲2.5	0.0	0.2	0.9	▲0.6	▲0.5
	12月	18.9	17.1	1.7	1.3	14.1	1.8	0.5	▲0.1	1.2	0.2
22年	3月	7.9	4.3	5.0	3.9	▲4.6	3.6	1.1	1.1	0.0	1.4
	6月	11.1	5.3	3.5	3.2	▲1.4	5.8	▲0.4	0.2	4.0	2.0
	9月	5.1	▲4.4	▲1.8	▲1.0	▲1.6	9.5	6.5	2.5	0.4	0.1
	12月	▲8.4	▲1.7	0.1	▲0.5	▲1.3	▲6.7	▲6.0	▲0.9	0.2	0.0
23年	3月	▲8.9	▲7.1	▲0.7	2.2	▲8.6	▲1.8	0.3	▲1.4	▲0.9	0.2
	6月	▲17.7	▲12.5	▲4.0	▲5.1	▲3.4	▲5.2	▲2.1	▲0.8	▲0.9	▲1.4
	9月	9.8	8.4	1.6	2.2	4.6	1.4	0.7	0.0	0.3	0.4
	見通し	1.5	3.5	2.3	2.6	▲1.4	▲2.0	▲0.7	0.2	▲2.0	0.5

(前年同期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
19年	9月	▲13.7	▲10.8	▲2.7	▲5.5	▲2.6	▲2.9	▲0.7	0.4	▲2.0	▲0.6
	12月	▲40.7	▲32.4	▲7.6	▲7.1	▲17.7	▲8.3	▲2.3	▲1.3	▲2.3	▲2.4
20年	3月	▲52.8	▲40.6	▲11.5	▲9.3	▲19.8	▲12.2	▲3.1	▲2.3	▲3.8	▲3.0
	6月	▲60.3	▲43.6	▲15.2	▲12.8	▲15.6	▲16.7	▲3.8	▲3.4	▲4.1	▲5.4
	9月	▲51.0	▲38.6	▲13.3	▲10.3	▲15.0	▲12.4	▲1.4	▲3.9	▲3.5	▲3.6
	12月	▲34.5	▲21.8	▲10.8	▲15.0	4.0	▲12.7	▲1.6	▲4.0	▲4.2	▲2.9
21年	3月	▲36.3	▲19.8	▲12.2	▲17.6	10.0	▲16.5	▲4.5	▲5.0	▲3.8	▲3.2
	6月	0.2	8.5	▲3.3	▲11.1	22.9	▲8.3	▲3.6	▲3.2	▲1.3	▲0.2
	9月	2.0	11.2	▲1.3	▲7.5	20.0	▲9.2	▲3.9	▲2.4	▲1.5	▲1.4
	12月	32.1	32.5	4.3	1.5	26.7	▲0.4	▲1.6	▲0.3	1.5	0.0
22年	3月	44.4	37.2	11.7	9.2	16.3	7.2	2.0	1.7	1.7	1.8
	6月	37.0	25.8	10.9	9.3	5.6	11.2	1.4	2.1	4.6	3.1
	9月	43.0	22.3	8.4	7.4	6.5	20.7	7.7	3.7	5.6	3.7
	12月	15.7	3.5	6.8	5.6	▲8.9	12.2	1.2	2.9	4.6	3.5
23年	3月	▲1.1	▲7.9	1.1	3.9	▲12.9	6.8	0.4	0.4	3.7	2.3
	6月	▲29.9	▲25.7	▲6.4	▲4.4	▲14.9	▲4.2	▲1.3	▲0.6	▲1.2	▲1.1
	9月	▲25.2	▲12.9	▲3.0	▲1.2	▲8.7	▲12.3	▲7.1	▲3.1	▲1.3	▲0.8
	見通し	▲15.3	▲7.7	▲0.8	1.9	▲8.8	▲7.6	▲1.8	▲2.0	▲3.5	▲0.3

II. 消費指数(内訳)

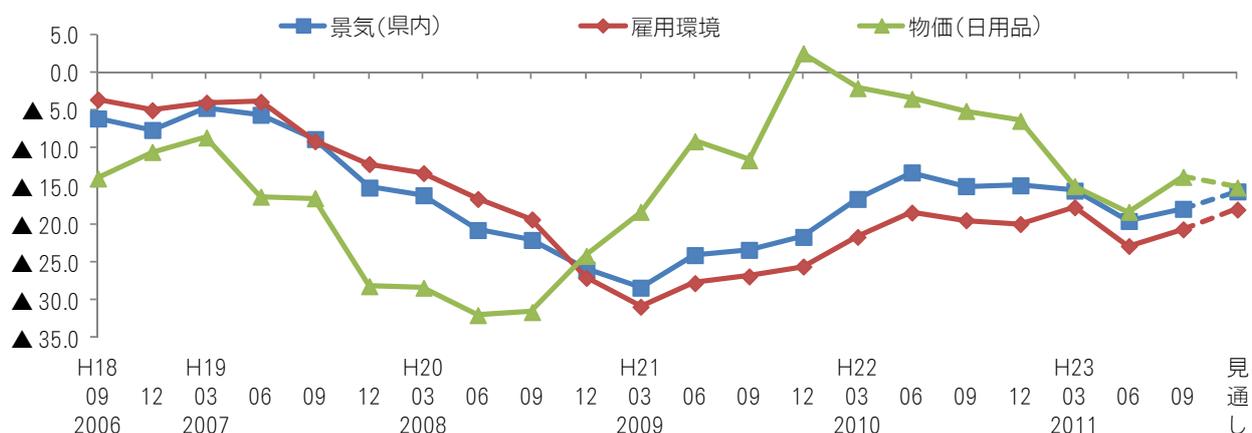
1. 景気判断

(1) 景気判断の概況

指数は▲52.5(前期比8.4ポイント上昇)となり、昨年6月調査以来、1年3ヵ月振りに回復が見られた。個別指数をみると景気が▲18.0(前期比1.6ポイント上昇)、雇用環境が▲20.7(前期比2.2ポイント上昇)、物価が▲13.8(前期比4.6ポイント上昇)と全ての指数で回復している。

なお、今後の見通しについては、▲49.0(前期比3.5ポイント上昇)と若干の回復が継続する見込みとなっている。

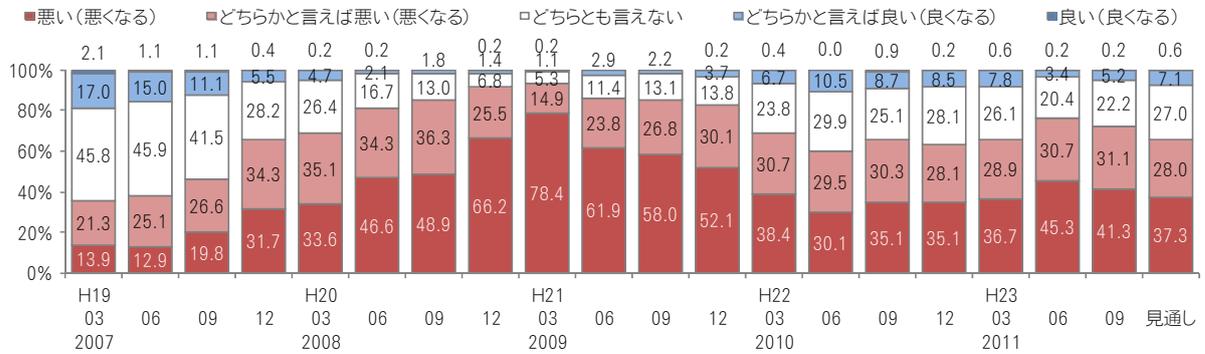
図表3 景気判断指数(内訳)の推移



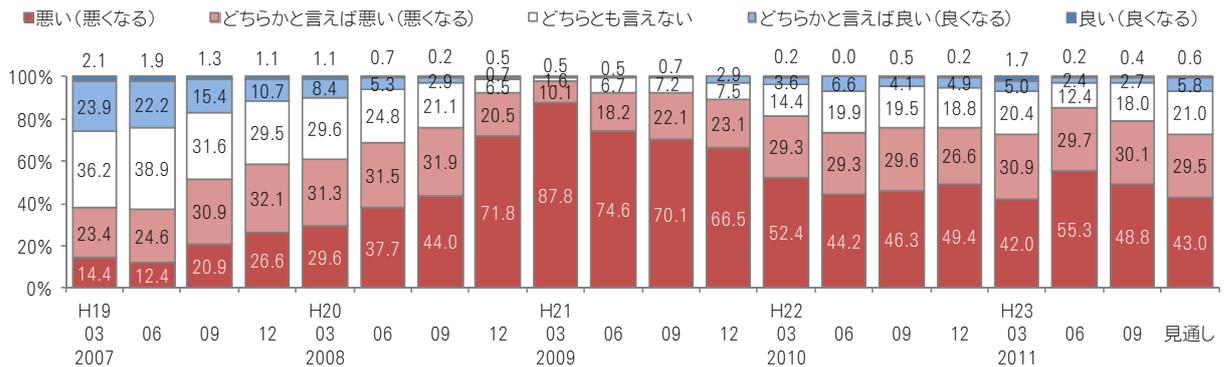
調査時期	景気判断指数			
		景気(県内)	雇用環境	物価(日用品)
22年	6月	▲35.2	▲13.2	▲3.5
	9月	▲39.6	▲15.0	▲5.1
	12月	▲41.3	▲14.9	▲6.4
23年	3月	▲48.4	▲15.6	▲15.0
	6月	▲60.9	▲19.6	▲18.4
	9月	▲52.5	▲18.0	▲13.8
	(前期差)	(8.4)	(1.6)	(2.2)
	(前年同期差)	(▲12.9)	(▲3.0)	(▲1.2)
見通し		▲49.0	▲15.7	▲18.1
	(変化幅)	(3.5)	(2.3)	(2.6)

(2) 景気判断の推移

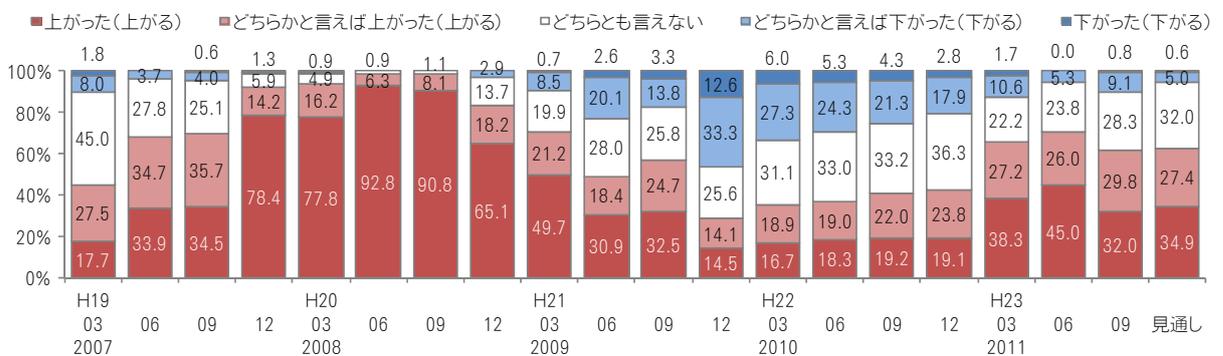
① 景気(県内)



② 雇用環境



③ 物価(日用品)

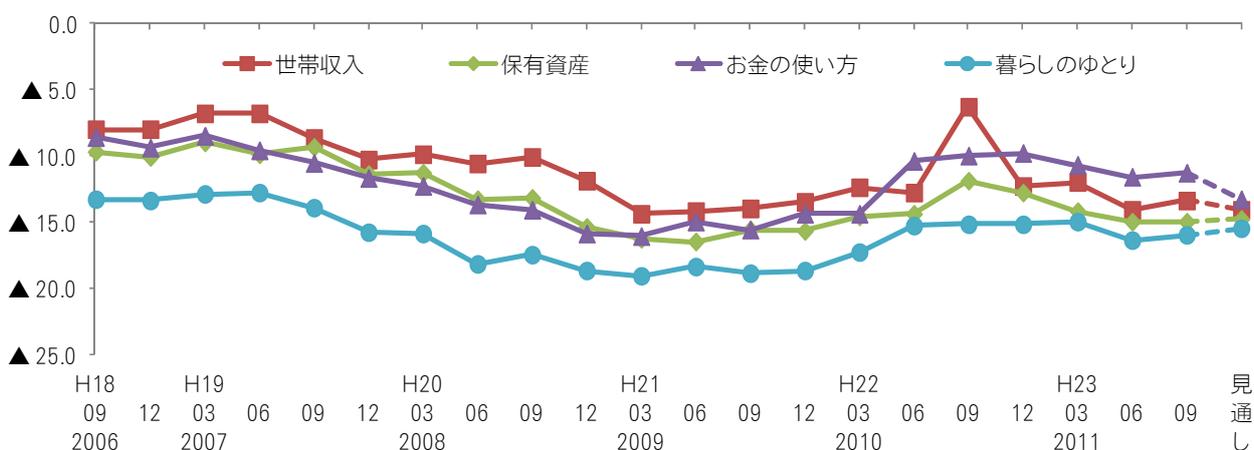


2. 暮らし向き判断

(1) 暮らし向き判断の概況

指数は▲55.7(前期比1.4ポイント上昇)となり、指数を形成する4つの個別指数ともほぼ横ばいとなっている。なお、今後の見通しについても、▲57.7(前期比2.0ポイント下落)となり、ほぼ横ばいの見込み。

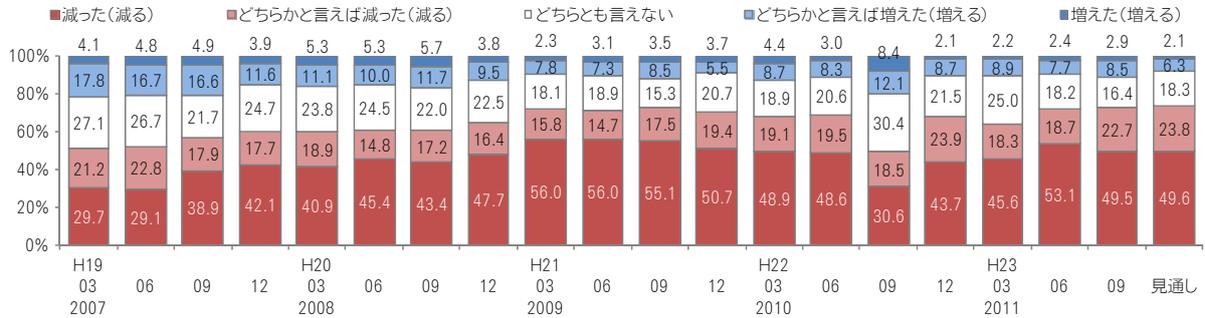
図表4 暮らし向き判断指数(内訳)の推移



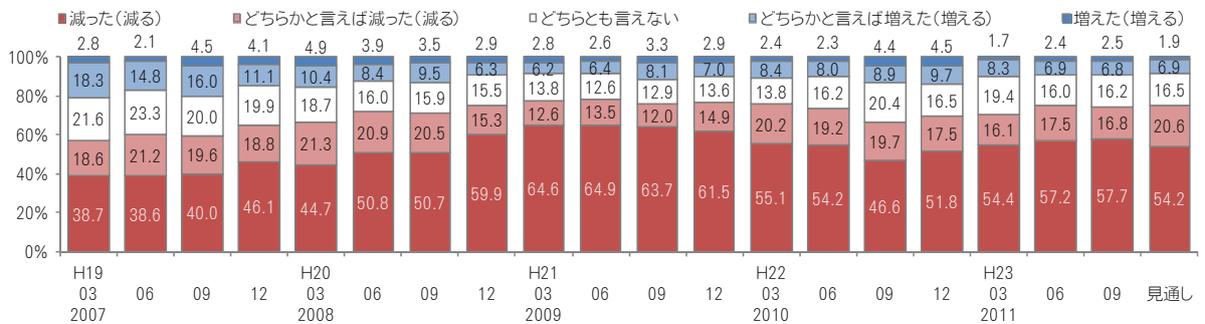
調査時期	暮らし向き判断指数					
		世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり	
22年	6月	▲52.9	▲12.8	▲14.4	▲10.4	▲15.3
	9月	▲43.4	▲6.3	▲11.9	▲10.0	▲15.2
	12月	▲50.1	▲12.3	▲12.8	▲9.8	▲15.2
23年	3月	▲51.9	▲12.0	▲14.2	▲10.7	▲15.0
	6月	▲57.1	▲14.1	▲15.0	▲11.6	▲16.4
	9月	▲55.7	▲13.4	▲15.0	▲11.3	▲16.0
	(前期差)	(1.4)	(0.7)	(0.0)	(0.3)	(0.4)
	(前年同期差)	(▲12.3)	(▲7.1)	(▲3.1)	(▲1.3)	(▲0.8)
	見通し	▲57.7	▲14.1	▲14.8	▲13.3	▲15.5
	(変化幅)	(▲2.0)	(▲0.7)	(0.2)	(▲2.0)	(0.5)

(2) 暮らし向き判断の推移

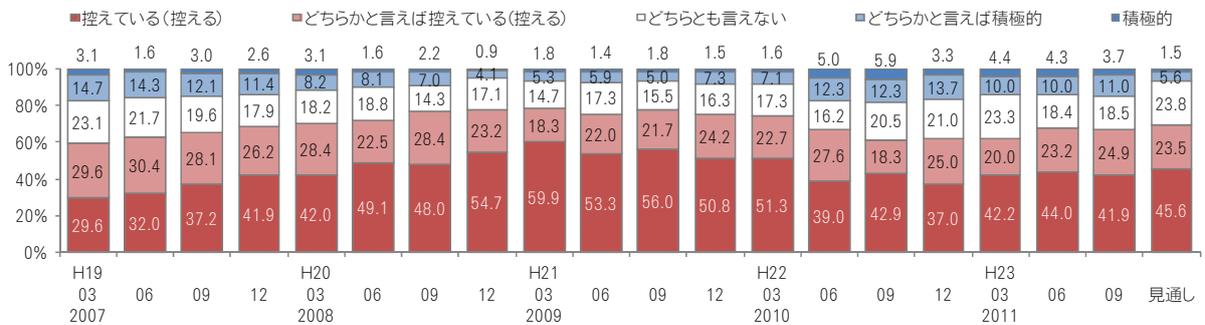
① 世帯(勤労)収入



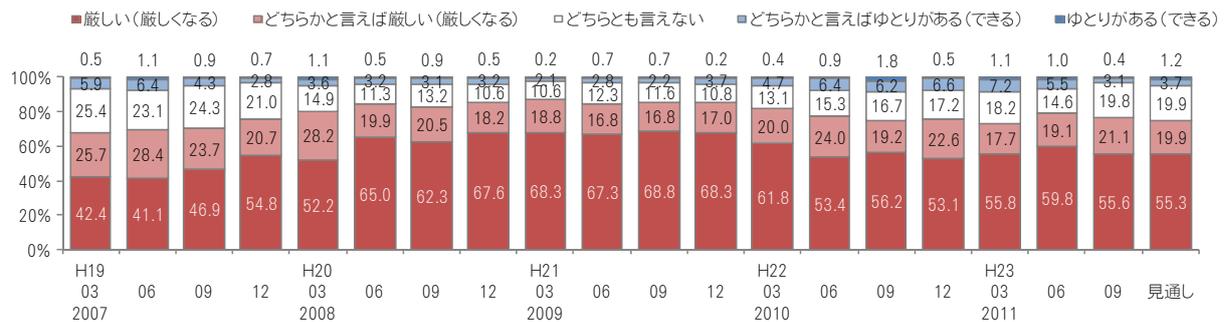
② 保有資産



③ お金の使い方



④ 暮らしのゆとり



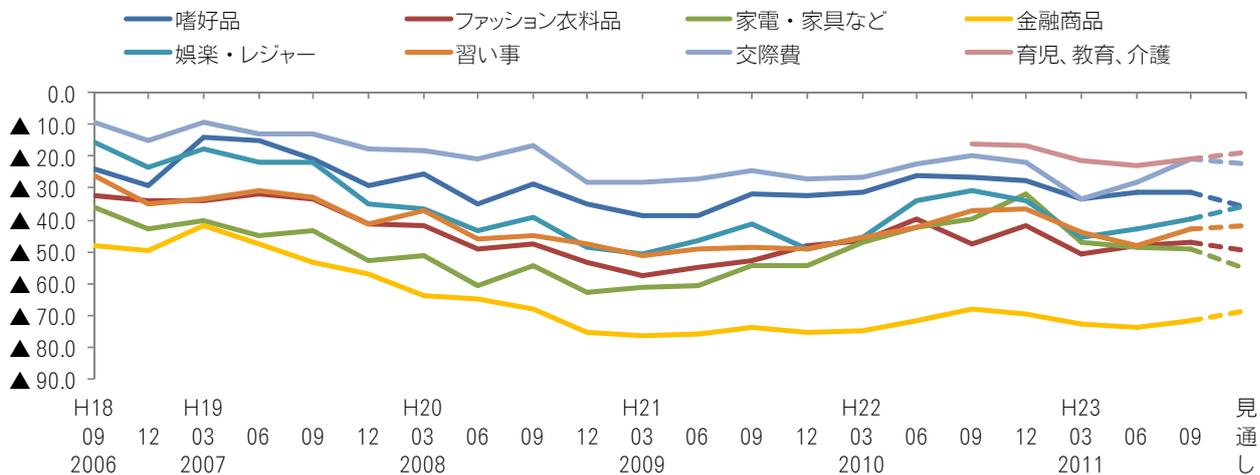
III. 支出意向

(1) 支出意向の推移

支出意向D Iの平均値は、▲40.4(前期比 2.6 ポイント上昇)となりほぼ横ばいとなっている。個別の項目を見ると「交際費」が▲20.6(前期比 7.6 ポイント上昇)と最も高く、震災前の水準に戻っている。

なお、今後の見通しについては▲41.1(前期比 0.7 ポイント下落)でほぼ横ばいとなっている。個別の項目を見ると「娯楽・レジャー」が▲35.4(前期比 4.4 ポイント上昇)と回復が続き、震災前の水準にほぼ戻る見込みとなっている。

図表5 支出意向D Iの推移



調査時期	支出意向D I									
		嗜好品	ファッション衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽レジャー	習い事	交際費	育児・教育・介護	
22年	9月	▲35.7	▲26.5	▲47.5	▲39.9	▲67.9	▲31.0	▲37.2	▲20.0	▲16.0
	12月	▲35.0	▲27.6	▲41.7	▲31.9	▲69.5	▲34.2	▲36.9	▲21.8	▲16.6
23年	3月	▲43.5	▲33.4	▲50.6	▲47.2	▲72.6	▲45.3	▲43.9	▲33.7	▲21.2
	6月	▲43.0	▲31.2	▲48.3	▲48.9	▲73.6	▲42.8	▲47.9	▲28.2	▲23.0
	9月	▲40.4	▲31.1	▲47.0	▲49.3	▲71.7	▲39.7	▲42.9	▲20.6	▲20.7
	(前期差)	(2.6)	(0.1)	(1.3)	(▲0.4)	(1.9)	(3.1)	(5.1)	(7.6)	(2.4)
	(前年同期差)	(▲4.6)	(▲4.6)	(0.6)	(▲9.5)	(▲3.8)	(▲8.8)	(▲5.7)	(▲0.6)	(▲4.7)
	見通し	▲41.1	▲36.2	▲50.0	▲55.5	▲68.6	▲35.4	▲41.9	▲22.5	▲18.8
	(変化幅)	(▲0.7)	(▲5.1)	(▲3.0)	(▲6.2)	(3.1)	(4.4)	(1.0)	(▲1.9)	(1.9)

【D I値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例) 嗜好品D I値

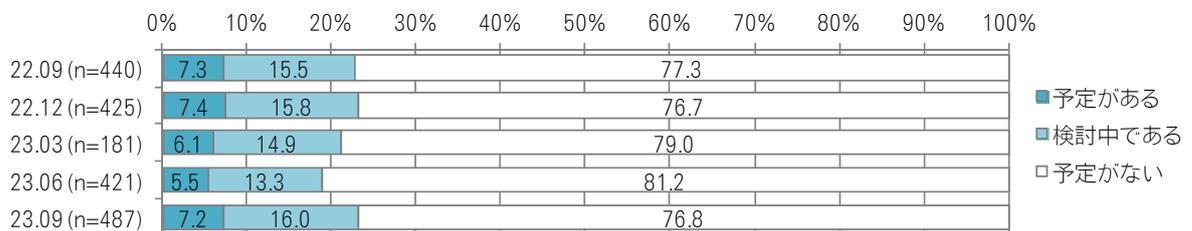
= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) - (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)

(2) 支出意向(大きな買い物)の推移

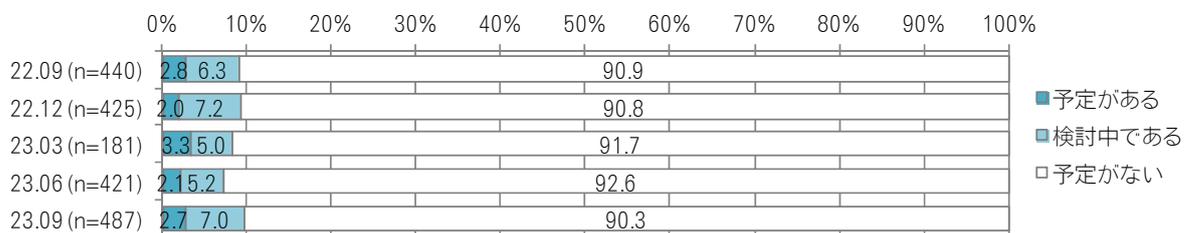
自家用車(中古車含む)は7.2%の世帯で購入予定であり、前期比で1.7ポイント増加した。検討中の世帯を合わせると23.2%となり、震災前調査(22年12月)と並んだ。住宅(マンション、中古住宅含む)、土地は2.7%の世帯で購入予定であり、検討中の世帯と合わせると9.7%となり、前期比で2.4ポイント増加している。一方、住宅リフォームは2.5%の世帯で実施予定であり、前期比で2.5ポイント減少しているが、検討中の世帯を合わせると、19.1%となり、前期比で1.1ポイント増加している。海外旅行は2.7%の世帯で予定しており、1.7ポイント増加した。

以上、大きな買い物の支出意向は総じて、震災前の水準に戻っている。

図表6 自家用車(中古車含む)



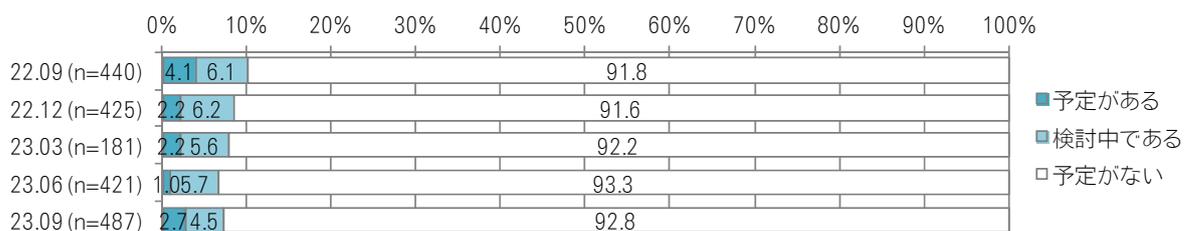
図表7 住宅(中古物件含む)、土地



図表8 住宅リフォーム



図表9 海外旅行



IV. 家計簿調査

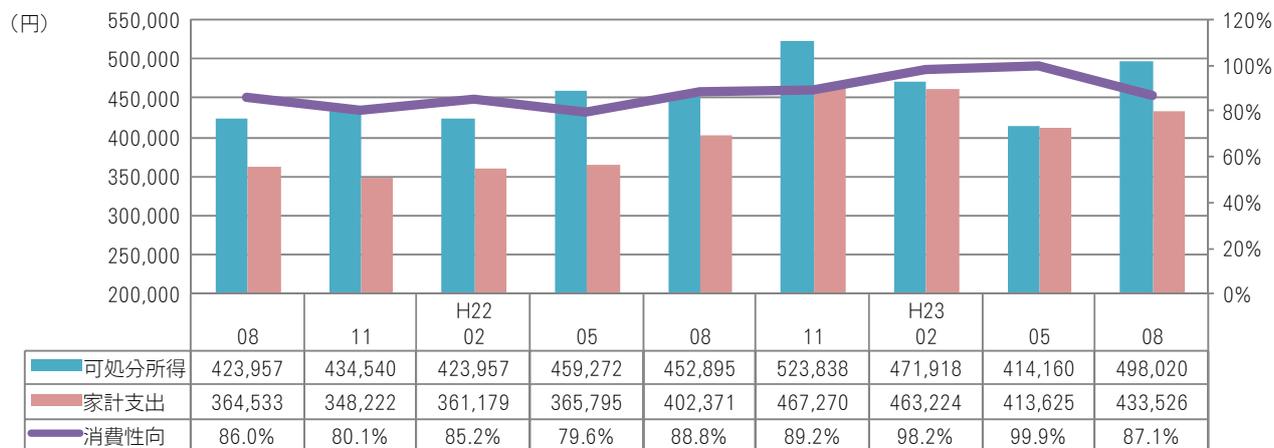
図表 10 家計簿(438 世帯平均)

調査年月		22年 8月	23年 5月	23年 8月	(単位：円)	
					前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	-	317,220	324,801	7,581	-
	世帯主の臨時給与《支給額》	-	12,690	46,297	33,607	-
	A.世帯主の給与《支給額》	-	329,910	371,097	41,187	-
	世帯員の定例給与《支給額》	-	153,065	134,529	▲18,536	-
	世帯員の臨時給与《支給額》	-	2,232	18,772	16,540	-
	B.世帯員の給与《支給額》	-	155,297	153,301	▲1,996	-
	世帯収入合計《支給額》(A+B)	-	485,207	524,398	39,191	-
収	世帯主の定例給与《手取り額》	232,798	232,491	254,415	21,923	21,617
	世帯主の臨時給与《手取り額》	18,247	7,383	36,919	29,536	18,672
	C.世帯主の勤労収入合計《手取り額》	251,045	239,874	291,334	51,460	40,289
	世帯員の定例給与《手取り額》	108,955	101,497	113,699	12,201	4,744
	世帯員の臨時給与《手取り額》	8,740	1,196	14,482	13,285	5,742
D.世帯員の勤労収入合計《手取り額》	117,695	102,694	128,180	25,487	10,485	
世帯収入合計《手取り額》(C+D)	368,740	342,568	419,514	76,946	50,774	
入 (手 取 り 額)	1. 公的年金給付(老齢、障害、遺族年金)	36,580	21,527	33,184	11,657	▲3,396
	2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)	701	2,038	1,780	▲258	1,079
	3. 各種手当(児童手当、こども手当)	4,982	3,717	3,887	170	▲1,095
	4. 利息、株式配当、投信分配金	1,596	3,762	2,679	▲1,084	1,083
	5. 事業収入(個人事業、農林水産業など)	2,632	2,997	4,334	1,337	1,702
	6. 不動産収入(駐車場、アパート家賃など)	3,447	2,200	3,929	1,728	482
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)	2,742	289	1,212	922	▲1,530
	8. 不動産売却(土地、住宅、マンションなど)	0	184	0	▲184	0
	9. 中古品売却(リサイクルショップなど)	-	183	379	196	-
	10. 保険満期返戻金	-	6,230	6,895	665	2,628
	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)	10,857	869	6,590	5,721	-
	12. 相続、贈与、退職金	411	5,981	0	▲5,981	▲411
	13. 祝金、謝礼金、香典など	11,838	3,714	2,756	▲958	▲9,082
	14. 身内からの仕送り	518	1,818	6,495	4,677	5,977
	15. 借入れ(カードローン、キャッシング)	1,865	10,546	3,444	▲7,103	1,579
	16. その他	5,986	5,536	943	▲4,593	▲5,043
E. その他収入(控除後)	84,155	71,592	78,506	6,913	▲5,649	
I. 収入計 (C+D+E)	452,895	414,160	498,020	83,860	45,125	
支 出	1. 食費(飲食会費は含まない)	55,927	54,474	56,318	1,844	391
	2. 住居費(家賃、駐車場、修繕)	55,505	15,969	19,162	3,192	▲36,344
	3. 水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)	23,807	28,028	23,415	▲4,613	▲392
	4. 生活用品(生活雑貨、家事消耗品など)	10,964	11,272	11,722	450	758
	5. 被服・装飾費(衣服、アクセサリ等)	9,796	9,242	10,209	967	413
	6. 医療・介護・理美容(通院、医薬品など)	12,337	11,303	15,608	4,305	3,271
	7. 交通費1(バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	4,239	2,558	5,159	2,601	920
	8. 交通費2(ガソリン代)	17,125	16,915	18,587	1,672	1,462
	9. 自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)	-	11,187	11,665	478	-
	10. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	17,747	18,639	19,790	1,151	2,043
	11. 教育費(授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	16,861	22,086	20,180	▲1,906	3,319
	12. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)	8,389	8,246	7,685	▲664	▲704
	13. 交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	17,145	14,065	17,271	3,207	126
	14. 娯楽、趣味(旅行、レジャー、映画鑑賞など)	14,763	12,519	18,066	5,548	3,303
	15. 習い事(英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	3,082	2,810	2,412	▲670	▲670
	16. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)	23,781	8,328	13,116	4,787	▲10,665
	17. 金融商品1(株、国債、外貨、金など)	3,978	5,491	697	▲4,794	2,888
	18. 金融商品2(投資信託、変額・定額年金保険)	-	3,141	6,169	3,028	-
	19. 借入返済1(住宅ローン) ※2	-	33,994	42,990	8,996	-
	20. 借入返済2(自動車、学資、カードローン)	13,324	13,731	15,013	1,282	1,689
	21. 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)	49,416	53,994	41,560	▲12,434	▲7,856
	22. 身内への仕送り(学生など)	10,229	9,691	10,831	1,140	602
	23. 小遣い、その他	33,956	45,941	45,901	▲40	11,945
II. 支出計	402,371	413,625	433,526	19,901	31,155	
平均消費性向(支出計÷収入計×100)	88.8%	99.9%	87.1%	▲12.8%	▲1.8%	
平均貯蓄性向(1-平均消費性向)	11.2%	0.1%	12.9%	12.8%	1.8%	

※1 世帯収入(《支給額》)は401世帯平均。世帯収入・支出(《手取り額》)は438世帯平均。

※2 H22年12月調査より住宅ローン返済費用は「2. 住居費」から「20. 借入返済1」に移項。

図表 11 平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得(収入の手取り額)が498千円と前年同期比で45千円増加となった。臨時給与を含んだ世帯主と世帯員の収入が50千円増加したのが主たる要因である。一方、支出面では433千円と前年同期比で31千円増加となった。その結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は87.1%となり、23年2月調査(98.2%)、23年5月調査(99.9%)に比べ大幅に低下し、22年11月調査(89.2%)の水準に戻った。

V. 調査の概要

1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容

- ◆ 郵送調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：507 世帯 有効回答数：487 回答率：96.1%
- ◆ 22年3月調査は東日本大震災をはさんでいることから、震災発生後の回答のみを採用。

3. モニター属性



4. 調査の対象者

- ・山形県内に在住する勤労者(サラリーマン)世帯(世帯人数2人以上の世帯)

5. 調査期間

- ・平成23年9月1日～20日

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所
 研究開発グループ 熊本 均 / 梅木 倫行
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F
 TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038
 E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>